

第5回東京都緩和医療研究会学術集会

「飛び出そう！ 東京都」

～職種、地域、立場の枠を越えて～

日時：2017年 **10月22日(日)** 13:00～17:00

場所：東京医科歯科大学 M&Dタワー2階 鈴木章夫記念講堂
〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

大会長：三宅 智 (東京医科歯科大学大学院 臨床腫瘍学分野 教授)



この学術集会は医療福祉従事者を通じて、患者・家族に緩和ケアの正しい理解を広げていくことも目指しており、日本緩和医療学会、緩和ケア普及啓発事業（オレンジバルーン）に参加しています。
*オレンジバルーンプロジェクトとは、国民の方々に緩和ケアについて正しい知識を広げていくためのプロジェクトです。

東京都緩和医療研究会は東京都在職の日本緩和医療学会理事と地区委員が発起人となり、東京都内の緩和医療の関係者が顔を合わせ、緩和医療のあり方について学術的に意見交換し、地域の連携について話し合う機会を作っていくことを目的として設立されました。

【共催】

公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団/東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター
東京医科歯科大学大学院 臨床腫瘍学分野/未来がん医療プロフェッショナル養成プラン

【後援】

東京都医師会/東京都看護協会/東京都薬剤師会/日本緩和医療学会/日本緩和医療薬学会/日本癌治療学会
日本臨床腫瘍学会/日本臨床腫瘍薬学会(申請中：東京都/東京医科歯科大学医師会)

第5回東京都緩和医療研究会学術集会プログラム

内容	時間	演者・演題等
開会挨拶	13:00-13:05 (5分)	三宅 智 (東京医科歯科大学大学院・臨床腫瘍学分野・教授 東京医科歯科大学医学部附属病院・腫瘍センター長)
講演1～4座長： 林 章敏 (聖路加国際病院・緩和ケア科部長) 本松 裕子 (東京医科歯科大学医学部附属病院・緩和ケア認定看護師)		
講演1	13:05-13:25 (20分)	「東京都のがん対策の概要について」 三ツ木 浩 (東京都福祉保健局・医療政策部・歯科担当課長)
講演2	13:25-13:55 (30分)	「緩和ケアへの医療連携と在宅移行 当法人の取り組みを交えて」 越川 貴史 (医療法人社団杏順会・越川病院・理事長・院長) 小池 拓也 (医療法人社団杏順会・越川病院・副院長)
講演3	13:55-14:35 (40分)	「患者・医療者の立場を越えて～がんサバイバーの想い～」 坂下 千瑞子 (東京医科歯科大学医学部附属病院・血液内科)
休憩	14:35-14:45 (10分)	休憩
講演4	14:45-15:15 (30分)	「がん治療と緩和ケアの協働を地域緩和ケア連携 東京都での実現を目指して」 加藤 雅志 (国立がん研究センター・がん対策情報センター・がん医療支援部長 中央病院 相談支援センター長 (併任) 中央病院 精神腫瘍科 (併任))
シンポジウム	15:15-16:50 (95分)	「がん診療と緩和ケア～職種・地域・立場の枠を越えて～」 座長： 三宅 智 (東京医科歯科大学大学院・臨床腫瘍学分野・教授 東京医科歯科大学医学部附属病院・腫瘍センター長) パネリスト： ①【地域包括ケアにおける緩和ケア連携のハブ機能を担う病院の 役割～患者の安心を保証し、希望を叶える地域連携～】 廣橋 猛 (永寿総合病院・がん診療支援・緩和ケアセンター長) ②【診断から看取りまで～がん治療医にできること～】 後藤 宏顕 (江戸川病院・腫瘍血液内科) ③【在宅医療連携における診療所薬剤師の役割】 佐久間 詠理 (わたクリニック・緩和薬物療法認定薬剤師) ④【緩和ケア病棟におけるMSWの役割～地域、院内の橋渡し～】 齋藤優喜子 (聖ヨハネ会桜町病院・地域医療連携室係長・社会福祉士) ⑤【早期からの緩和ケアに向けた看護師の役割】 深田 陽子 (日本医科大学付属病院・がん専門看護師)
第6回学術集会 大会長挨拶	16:50-16:55 (5分)	下山 直人 (東京慈恵会医科大学大学院・緩和医療学・教授 東京慈恵医科大学病院・緩和ケア診療部長)
閉会挨拶	16:55-17:00 (5分)	三宅 智 (東京医科歯科大学大学院・臨床腫瘍学分野・教授 東京医科歯科大学医学部附属病院・腫瘍センター長)

<お問合せ先>

第5回東京都緩和医療研究会学術集会事務局
東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター内
〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45
TEL: 03-5803-4089
Mail: 2017tokyokanwa@gmail.com

【参加費】

※当日受付のため、直接会場にお越しください。
会 員：2,000円
非会員：3,500円